

防災、命を守る行動を！

～梅雨期・台風期を迎えるにあたっての注意喚起～

1 出水期に向けて

大雨や地震などの災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。

災害から命を守るためには、一人ひとりが日ごろから防災に対する正しい知識と心構えを持ち、災害が発生したときには適切に行動することが重要です。

気象情報や避難情報に注意し、**早めの避難**を心がけましょう。

2 市の取り組み

○ ホームページ「防災情報北九州」のリニューアル

- ・デザインを一新し、情報の取りやすさを意識した画面構成に改良。
- ・土砂災害の危険度や避難情報が分かるほか、避難所の開設の有無や混雑状況などもリアルタイムに把握できる。



○ 新・総合防災情報システムの構築

- ・被害状況を地図や写真で表示する機能により、より迅速かつ確実な災害対応が可能となる。
- ・大型モニター、情報共有テーブル等を導入し、災害対策本部機能を強化。



○ 市民向けの情報ツール

<防災ガイドブック>

昨年度、6年ぶりに防災ガイドブックを改定し、住民一人ひとりの行動計画であるマイ・タイムラインの作成方法などを掲載している。

<防災アプリ「ハザードン」>

避難所の開設状況や混雑状況が地図上で確認できるほか、土砂災害や河川氾濫などの危険度分布に関する情報をプッシュ通知でお知らせする機能もある。

<LINE>

災害発生の恐れがある場合には防災情報を優先したメニューに切り替わり、避難情報や開設中の避難所情報を確認できる。

<KBCテレビの「dボタン広報誌」>

お住まいの地域に開設中の避難所情報を確認できる。